

# 平成 28 年度浙江省友好交流員レポート（10 月）

浙江省友好交流員 三澤拓巳

杭州での生活も 1 か月半ほどが経過し、生活サイクルもでき充実した留学ライフを送っています。ここ浙江大学は韓国からの留学生が大変多いため、韓国人の友達が増えてきました。まさか、中国で中国文化だけでなく韓国文化にも触れることできるとは思わなかったのも、とても勉強になります。また、クラスメイトとも距離が縮まり、一緒に食事に行ったり外出したりと日本ではなかなか味わえない体験をしています。

食事に関しても、大学の学食だけでなく積極的に外へ出かけ大学近くの飲食店で食事をしています。学食に比べると少し価格は上がりますが、日本に比べると断然安くおいしい中国料理が食べられます。私たち交流員も何度もお店に通っており、お店の人とあいさつを交わすようになりました。「你好（こんにちは）」や「再见（またね）」などの簡単なあいさつですが、コミュニケーションが取れるだけで、なんだか嬉しくなります。あいさつは世界共通でコミュニケーションの第一歩です。

今回のレポートでは杭州市の名所の一つを紹介したいと思います。それは、「岳王廟」です。中国北宋時代の有名な将軍「岳飛」を祀る墓陵です。岳飛は日本での知名度は低いかもしれませんが、中国では英雄として知られています。女真族によって奪われた中国中原の地を奪回しようと奔走しますが、秦檜の陰謀に遭い志半ばに無念の死を遂げてしまいます。後に国民的英雄として、ここ杭州に 1221 年に岳王廟が作られました（現在の岳王廟は再建されたもの）。

岳王廟には岳飛のお墓だけでなく、岳飛の息子のお墓もあります。また、「鉄跪像」という陰謀を企てた秦檜がひざまずいている鉄の像もあります。他にも、岳飛の将軍としての功績や詩、岳飛にまつわる石碑など、「岳飛」という人物を詳しく知ることができる名所となっています。私自身も、今までは高校の世界史の授業で習った程度しか岳飛を知りませんでした。ここを訪れてみて自分の勉強不足を感じるとともに、もっと歴史を勉強したいと感じました。これからもっと、浙江省や杭州市の歴史、また、中国宋の時代の歴史を勉強したいと思います。

以下では今月撮影した写真を紹介します。



左の4枚の写真は「岳王廟」です。左下の写真が上で紹介した、「鉄跪像」です。秦檜夫婦が今もなお人々から辱めを受けています。



10月1日～7日は中国の大型連休「国慶節（国庆节）」でした。人が多いことは承知で西湖に行ってみました。やはり、多く観光客でいっぱいでした。これもG20の影響でしょう。





10月中旬に浙江大学紫金港キャンパスに行きました。2枚の写真は食堂です。この食堂はアジア最大級を誇るらしく、とても大きくメニューも充実していました。中国各地方の料理をはじめ、世界中の様々な料理があり、食べ尽くすには時間がかかりそうです。